

## 第 3 回

一造会 すてきな造園空間 施工管理技術 作品コンクール

～私の技術、私の苦勞、私の工夫～

# 募 集 要 項

2023年5月1日



全国1級造園施工管理技士の会（一造会）  
技術部会

## 1. 実施の目的

一造会 すてきな造園空間 施工管理技術 作品コンクールは、一造会 すてきな造園空間 賞 表彰規定（案）に基づき、以下に挙げる3点を目的として実施します。

- (1) 一造会会員がその施工技術を発揮して創造したすてきな造園空間、手入れ等により育成し完成した美しいみどりの空間、創意工夫による管理運営でより魅力的になった公園緑地など、一造会会員が施工や管理に携わりエンドユーザーにとって価値が向上した造園空間を発見し、その功績や努力を称え、認めること。
- (2) 一造会会員が当コンクールの作品成果を共有したうえで、「おさまり」や「出来栄え」をさらに意識して新たな造園の仕事に取り組むこと。
- (3) 一造会会員が取り組んだ造園としてのすばらしい仕事を社会に広く発信すること。

## 2. 実施体制

### (1) 主催等

- ・主催：全国1級造園施工管理技士の会（一造会）
- ・協力：高城 雄三 氏（株式会社CSS 技術開発 創業者・元社長）

### (2) 問い合わせ先

全国1級造園施工管理技士の会（一造会）事務局 担当：矢部 正治  
〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-20-11 造園会館内  
TEL：03-6455-0426 e-mail：info@icz.jp

## 3. 作品の募集、応募

### (1) テーマ

“すてきな造園空間の発見”をテーマに、一造会会員が携わった造園工事や公園緑地等の管理運営において、その技術を発揮して作った「おさまり」や「出来栄え」のよい現場や苦勞して作り上げた現場、創意工夫や技術革新により作り上げた空間など、自分が携わった仕事をわかりやすく写真に撮り、解説文、アピール文とともに応募してください。

### (2) 対象となる作品の現場

2019年4月1日（2019年度）から2024年3月31日（2023年度）までの5年間に、一造会会員が造園工事や公園緑地等の管理運営に携わった現場で、他のフォト作品コンクール等に未発表の現場の写真、解説文を対象とします。なお、当コンクールへの

応募について、当該施設の所有者、または管理者等から必ず了承を得てください。

(3) 応募資格

代表者（応募者 1）は、当該造園工事や公園緑地の管理運営に携わった一造会正会員（個人技術者、および正会員の法人に所属し正会員として氏名登録されている方）とし、連名者（応募者 2 やその他応募者）は、その仕事と一緒に取り組まれた方とします。

(4) 応募票と応募作品フォーム

応募される方は、一造会のホームページ（下記）より応募票と応募作品フォームをダウンロードしてご応募ください。 <https://www.icz.jp/>

(i) 応募票（下記表 1 参照）

応募票には、作品名、応募者の氏名、連絡先等の必要事項をご記入ください。

(ii) 応募作品フォーム（下記図 1 参照）

応募作品フォームの写真 1 の欄には自分が作り上げた造園空間のアピールしたい箇所を含む「仕上がり全景の写真」を、写真 2 には「施工前の写真」、もしくは写真 1 のすてきな造園空間を作り上げるために取り組んだ技術や現場での苦勞、工夫等がわかる「施工中の写真」を、写真 3 と 4 には写真 2 と同様に技術や苦勞、工夫等がわかる「施工中の写真」を JPEG データで貼り付けてください（合計最大 4 枚）。

施工管理技術、苦勞、創意工夫等により作り上げた 「すてきな造園空間の仕上がり全景写真」	「施工前の写真」、もしくは 写真1のすてきな造園空間を作り上げるために取り組んだ 「施工管理技術、苦勞、創意工夫等がわかる施工中の写真」	作品名	第 3 回 全国 1 級造園施工管理技士の会 すてきな造園空間 施工管理技術 作品コンクール
		写真1（写真の説明文）	
写真1のすてきな造園空間を作り上げるために取り組んだ 「施工管理技術、苦勞、創意工夫等がわかる施工中の写真」	写真1のすてきな造園空間を作り上げるために取り組んだ 「施工管理技術、苦勞、創意工夫等がわかる施工中の写真」	No.	-
		写真3（写真の説明文）	写真4（写真の説明文）
アピールポイント	部門	<input type="checkbox"/> 造園工事 <input type="checkbox"/> みどり・公園管理 <input type="checkbox"/> 工法等改善	現場の所在地 (都・道・県) (市・町・村) 撮影日 年 月

図 1 応募作品フォーム（見本）

また写真にはそれぞれ明瞭な説明文を記載し、さらにアピールポイントなど必要事項をご記入のうえ提出していただきます。アピールポイントは写真に示された仕事を補足説明するものとして、自分がその案件にどのような立場で携わり、当初計画や課題はどういったことで、それに対してどのように考え、実際に技術や努力、工夫をどこにどのように施したのかを簡潔に記載してください。

(iii) 補助説明資料（希望者のみ、下記図2参照）

当コンクールの作品選考は、最大4枚の写真とそれぞれの写真の説明コメント、および自分の技術や工夫等について記したアピールポイント文で行います。しかし、それだけではすべてを説明しきれないという応募者については、「補助説明資料」（下記図2参照）の提出を認めます。この内容は、1作品につき別途写真（最大4枚まで）、各写真の説明コメント、補助説明文とします。補助説明資料は、作品そのものをより理解していただくためのあくまでも補助的資料です。この資料の提出は希望者のみとし、作品の応募に対して必須ではありません。

第3回			作品名
補 助 説 明 資 料	補助説明用写真①	補助説明用写真②	
	写真1（写真の説明文）	写真2（写真の説明文）	
	補助説明用写真③	補助説明用写真④	
	写真3（写真の説明文）	写真4（写真の説明文）	
補助説明文			応募者1 ( )
		No.	
		施工・管理 運営時期	年 月 ~ 年 月
		撮影日	年 月

図2 補助説明資料フォーム（見本）

(5) 応募作品数

一人最大5点までとします。他の作品と異なる空間で、すてきな造園空間を作り上げるために施工管理技術や現場での苦勞、創意工夫等が認められる場合は、同一の物件、現場

であっても複数の作品を応募することができます。

(6) 応募期間

2024年1月1日から3月31日到着分まで

(7) 受付窓口と作品等提出方法

(i) 受付窓口

全国1級造園施工管理技士の会（一造会）事務局

TEL：03-6455-0426（担当：矢部 正治）

(ii) 提出方法

下記メールアドレスへ電子メールにてExcelデータでご送付ください。

e-mail：info@icz.jp

#### 4. 作品の審査、表彰

(1) 審査方法

審査は、造園の技術や工夫を生かして創造された造園空間として優れた景と評価できる作品に対し、まずインターネットによるいいね！投票と一造会イベント会場での紙投票を行い、得票数を集計します。併せて次に示す選考委員による選考委員会を開催し、別に定める「評価基準採点表」に基づき各優秀作品を選定します。評価基準項目は、「造園技術の発揮」、「顧客や利用者の満足」、「現場条件の理解と対処」、「造園景観としての美しさ」、「時間軸を意識した仕事」、「工法発明などの業務改善」の6項目です。入選の評価は、写真写りがきれいかどうかといったことではなく、造園施工管理技士としての優れた技術力や価値を高めた工夫が作品の中にみられるか等を特に重視します。

(2) 選考委員

	氏名	所属・役職等
委員長	近江 慶光	千葉大学 助教
副委員長	藤本 加奈子	一造会 副会長
委員	金澤 弓子	東京農業大学 准教授
委員	木島 知弥	独立行政法人 都市再生機構
委員	高城 雄三	株式会社 CSS 技術開発 創業者・元社長
委員	松本 朗	一造会 常任相談役

（敬称略、五十音順）

(3) 事務局

	氏名	所属・役職等
事務局長	諸井 泰司	一造会 技術部会 部会長
事務局	黒子 典彦	一造会 広報部会 部会長
事務局	田村 賢二	一造会 技術部会
事務局	守安 省吾	一造会 技術部会
事務局	矢部 正治	一造会 事務局

(敬称略、五十音順)

(4) 審査発表

(i) 選考委員会：2024年6月中旬を予定

(ii) 入選発表：2024年8月以降に一造会ホームページ（下記）に結果を掲載

<https://www.icz.jp/>

(5) 表彰式

2024年7月に一造会技術発表会会場にて開催予定

(6) 贈呈する賞 最大8作品

賞	入選数	贈呈品
金賞（優秀の中で最も優れた造園空間として評価されたもの）	最大 1点	表彰プレート、副賞（約90,000円分）： 北海道などを楽しむ旅行券、ビール1年分、お米2.5年分、ハーゲンダッツアイスクリーム2.5年分からご希望のものを1つ
銀賞（優れた造園空間として評価されたもの）	最大 2点	表彰プレート、副賞（約36,000円分）： ビール4.8か月分、お米1年分、ハーゲンダッツアイスクリーム1年分からご希望のものを1つ
銅賞（努力や工夫がみられた造園空間として評価されたもの）	最大 5点	表彰プレート、副賞（約24,000円分）： ビール3.2か月分、お米8か月分、ハーゲンダッツアイスクリーム8か月分からご希望のものを1つ

※選考委員会の判断により、別途「特別賞」、「奨励賞」等を選出することがあります。

(7) 入賞作品および使用权

(i) 入賞作品は、一造会ホームページ、一造会会報、その他広報宣伝物等へ掲載する場合があります、次回作品コンクール開催時の宣材等に無償で使用させていただきます

す。なお、作品名、作者名の明示やトリミングの有無等、著作権はすべて主催者に帰属します。

(ii) 応募作品の著作権は撮影者に帰属します。

(iii) 肖像権、著作権に抵触しないようご注意ください。万が一、問題が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。

(iv) 応募された作品は返却いたしません。

(v) コンクールの審査結果に関するお問い合わせには対応いたしません。

※入賞とは、金賞、銀賞、銅賞、特別賞、奨励賞のいずれかの賞に該当する場合を指します。

#### (8) 入賞作品の展示

2024年7月開催の一造会技術発表会会場にて展示することを予定しています。

## 5. 造園 CPD 単位取得

一造会 すてきな造園空間賞は、造園 CPD 認定プログラムであり、応募者および受賞者にはそれぞれ以下の造園 CPD 単位が認められます。

#### (1) 応募に関する単位取得

(i) 教育形態Ⅱ. 論文等の発表(260、265)「造園 CPD 協議会構成団体主催のコンクール等への新規作品の出展・応募」として、以下の造園 CPD 単位が認められます。なお、一造会は造園 CPD 協議会構成団体です。

対象者	造園 CPD 取得単位数
応募資料の作成に従事した代表者：応募者 1 (1 名)	10 単位/1 件
応募資料の連名者：応募者 2 とその他応募者 (複数可) 各人	5 単位/1 件

(ii) 応募に関する単位取得の日付は、実際に応募資料を作成した期間となります。

#### (2) 受賞に関する単位取得

(i) 教育形態Ⅴ. 業務評価(520、525)「造園 CPD 協議会構成団体主催のコンクール等での受賞」として、受賞作品ごとに以下の造園 CPD 単位が認められます。

対象となる受賞作品	造園 CPD 取得単位数
金賞・銀賞・銅賞・ 特別賞・奨励賞	代表者(1 名)：20 単位/1 件 連名者(複数可)各人：10 単位/1 件

(ii) 受賞に関する単位取得の日付は、選考委員会からの受賞通知日(2024年7月予

定) となります。

以上の教育形態・区分番号等についての詳細は、「造園 CPD ガイドブック -第 6 版- (2023 年 4 月 1 日施行)」をご確認ください。公益社団法人日本造園学会の造園 CPD ホームページ (下記) よりダウンロードすることができます。

<https://service2.kktcs.co.jp/lacpd/hp/news/Main.htm>

## 6. 実施スケジュール

時 期	実 施 事 項	備 考
2023 年 5 月 1 日～12 月 31 日	募集要項の発表	HP、メールリスト、DM 他
2024 年 1 月 1 日～3 月 31 日	作品の募集	
2024 年 4 月下旬～6 月上旬	いいね！投票	インターネット投票
2024 年 5 月	イベント会場での紙投票	市民と造園家の交流会等にて
2024 年 6 月中旬	入選作品の選考	得票数集計、選考委員会
2024 年 7 月	入選発表・掲示および表彰式	一造会技術発表会会場にて
2024 年 8 月	受賞作品の掲載	一造会 HP に掲載
2025 年 3 月	受賞作品の掲載	一造会会報 (冊子) に掲載

※上記はあくまで予定であり、社会情勢等により変更になる場合があります。

以上